

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習Ⅲ		科目コード	20Y750	担当者	島田 幸一郎			
対象学生	幼児教育学科 2年生	学期区分	通年		単位数	2	担当形態	単独			
		授業区分	実習								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士選択必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保育実習Ⅰを踏まえ、家庭と地域の生活実態に触れて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解を深める。その上で、児童福祉施設（保育所以外）における家庭支援のための知識・技術などを具体的に学び、保育士としての自己課題を明確にする。						1. 「 <b>良心</b> 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 <b>創造</b> 」 高度な知性と 創造力	3. 「 <b>実践</b> 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考力・判断力・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	子どもや利用者への支援の方法・技術を実践する。					◎	◎	◎	○	◎	○
2.	施設の地域社会における役割と機能を理解する。										
3.	家族関係の調整・保護者支援の現状を知る。										
4.	異なる職種との連携・協働の重要性を理解する。					◎	◎	◎	○	◎	○
5.											
授業方法						成績評価の方法と割合					
保育所以外の児童福祉施設及び障害者施設での学外実習をおこなう。						受講態度（50%） 実習先の評価（40%） 実習の記録（10%）					
課題等への対応						授業外学修時間					
実習後に全体指導（実習報告会）や個別の事後指導をおこなう。						実習前後に3時間					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
	実習期間：2年次 9月 10日間					実習前に、実習先の子どもについて理解を深めておく。実習後に自己の課題を確認する。					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	「教育・保育実習の手引」 「実習記録ハンドブック」				受講生への メッセージ	施設で生活する子どもや利用者の心情及び実態の把握に努め、個に応じた支援技術の重要性を理解してください。併せて、施設の社会的役割についても理解を深めてください。					
参考書等	なし										